

投資事業評価調書（新規）

課室名	道路建設課	記入責任者職氏名 (担当者氏名)	道路建設課長 河南 嘉彦 (北村 昭二)	内線	4 3 6 2 (4 3 7 8)
-----	-------	---------------------	-------------------------	----	------------------------

事業種目	道 路	事業名	事業区間	総事業費 (内用地補償費)	約 20 億円 (-)
		(一)西宮豊中線 緊急地方道路整備事業	西宮市松並町 ～ 尼崎市南武庫之荘 (上武庫橋)		
所在地				着工予定年度	完成予定年度
西宮市松並町～尼崎市南武庫之荘				H 1 5 年度	H 1 9 年度
事業目的			事業内容		
<p>現橋が昭和 2 年架設で老朽化し、幅員が 4.5m にもかかわらず日交通量が 1 万台を超えていることから安全性向上のため架け換えを実施する。また、架け換えに併せて河川改修事業による河床掘削を実施し、治水の安全性を高める。</p>			<p>橋梁整備 現橋 L=242m W=4.5(7.5)m：1 車線+歩道 計画 L=243.6m W=6.0(11.5)m：2 車線+歩道 交通量（台/日）：現況 14,100 台 (H13.10.30 調査)</p>		
評価視点					
(1)必要性 安全・安心	<ul style="list-style-type: none"> ・老朽橋の整備・・・コンクリートの剥離が顕著で鉄筋が露出しており、早期における大規模補修が必要な状況であり、架換により安全性が向上する。 ・通行規制区間の解消・・・現橋は重量制限 4 t と大型車通行規制がかけられており、架換により大型車の通行が可能となる。 ・治水機能の向上・・・架け換えにより、武庫川の河川改修計画に基づく河床掘削が可能となり、地域の治水機能が向上する。 ・河川阻害橋梁の解消・・・橋脚が現在の 23 本から 5 本となり阻害率が 9.1%から 4.7%に改善される。 				
地域の活性化	<ul style="list-style-type: none"> ・都市基盤整備・・・国道 2 号と国道 171 号の中間に位置し、西宮市と尼崎市の中心市街地を結ぶ路線であり、当該路線の整備により地域交通が円滑化し活性化が図られる。 				
快適性・ゆとり	<ul style="list-style-type: none"> ・交通安全対策・・・西詰交差点改良による視距改善を図ることができる。 ・歩行者空間・・・往復約 2 千人の自転車歩行者が利用していることから、車椅子も走行可能な自転車歩行者道として幅 4.0m で整備する。 				
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・他事業関連・・・武庫川河川改修事業と一体的に整備する必要がある。（河川費約 2 割） ・地域ニーズ・・・地元、市から架換に関して強い要望がある。 				
(2)有効性・効率性	<ul style="list-style-type: none"> ・架け換えにより大型車の通行が可能となり、物流の効率化を図ることができる。 				
代替性	<ul style="list-style-type: none"> ・別ルートでは、橋梁取付道路設置に伴う用地買収等が生じ住民生活に大きな影響を与えることから、本ルートが最適であると考えられる。 				
効率性 (事業執行環境)	<ul style="list-style-type: none"> ・山手大橋の開通（平成 14 年 5 月予定）により、工事中の代替ルートとして利用できることから、工事中の通行止めに対する地元理解が期待できること、又、大規模な用地買収や仮橋を必要としないため、着手後直ちに工事着手ができ、工事期間も事業規模に比較して短い。 				
(3)環境適合性	<ul style="list-style-type: none"> ・橋梁幅員の拡幅や両端交差点部での右折車線の設置により渋滞が解消され、地域の大気環境の改善に資するものと考えられる。 ・既設橋梁の本体コンクリートを再生骨材としてリサイクルすること、及び地球温暖化の一因となっている有機溶剤の使用量を削減する塗装系を採用し、環境に配慮した計画としている。 				
(4)優先性	<ul style="list-style-type: none"> ・昭和 2 年架橋の老朽橋であり、早期に架換が必要である。又、武庫川の河川改修にスケジュールを合わせるために、詳細設計に要する期間を含め平成 15 年度に着手する必要がある。 				